

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明

2023年8月9日  
いすゞ自動車株式会社

## 説明内容

1. 全体総括
2. 2024年3月期 第1四半期 実績

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

# 1. 全体総括

## 全体総括

### 1. '24年3月期 第1四半期実績

- 第1四半期における売上高・営業利益・経常利益は、過去最高を計上。
- CVは、先進国向けが部品不足改善で台数増も、新興国向けが市況厳しく台数減。
- LCVは、タイ向けが市況厳しく台数減、輸出向けは、先期に部品不足により供給が滞った豪州を中心に台数増。
- 損益は、仕向・車型構成の改善、価格対応、及び原価低減活動が、資材費等の高騰を上回り、増益。

### 2. '24年3月期 通期見通し（期初見通し比）

- CVは、新興国向け需要が軟調も、先進国向け需要は引き続き強く、全体では想定並を見込む。
- LCVは、タイ向けの需要回復遅れによる台数減を見込む。一方、輸出向けは先期に供給が滞った地域を中心に台数増を見込む。
- 損益見通しは、第1四半期までの順調な進捗、また資材費等が想定を下回る価格で推移しているものの、市場環境が不透明なため、変更せず。

当社の製品カテゴリを示す用語について(P.16の付表をご参照ください)

CV (Commercial Vehicle) : 商用車 (トラック及びバス)

LCV (Light Commercial Vehicle) : ピックアップトラック及び派生車

Copyright(C) 2023 Isuzu Motors Limited All rights reserved

山口でございます。わたくしより、全体を総括して説明いたします。

まずは第1四半期の実績です。

売上高、営業利益、経常利益は、第1四半期としては、過去最高となりました。当期利益についても、ロシア事業譲渡に関連した特別損失22億円を計上していますが、過去最高に近いレベルを計上しています。

CVは、先進国向けが部品不足の改善により増加したものの、新興国向けは、市況が厳しく、減少しました。国内向けの新型車は、生産を開始しており、受注も順調にいただいております。今後、第2四半期以降に登録が本格化する見込みです。

LCVは、タイ国内向けが、ファイナンス環境の悪化により減少した一方、輸出向けは、先期に部品不足により車両供給が遅れた豪州を中心に、増加しました。

損益は、販売台数の減少影響を、仕向及び車型構成の改善により抑え、価格対応、原価低減活動による増益効果も加わり、資材費等の高騰はありましたが、増益となりました。

続きまして、24年3月期の見通しについてです。

CVは、新興国向け需要は軟調も、先進国向け需要は引き続き強く、全体では5月に公表した期初見通しと同レベルの販売台数を見込みます。

LCVは、先程申し上げたとおり、タイ国内向けの需要が厳しく、販売台数は期初見通しからの減少を見込みます。

一方、輸出向けは、先期に供給が滞った地域を中心に、増加を見込みます。

損益見通しについては、第1四半期までの順調な進捗、足元で資材費等が想定を下回る価格で推移していますが、市場環境が不透明なことから、据え置きとさせていただきます。



## 全体総括 '24年3月期 第1四半期実績

グローバル販売台数(千台)		'24/3-1Q	'23/3-1Q	対前年比増減	
CV計	国内	17	11	+6	+53%
	海外	54	66	▲12	▲18%
		71	77	▲6	▲8%
LCV計	タイ	35	48	▲13	▲26%
	輸出	58	52	+6	+10%
		93	100	▲7	▲7%
合計		164	177	▲13	▲7%

### 決算実績(億円)

売上高	7,755	6,882	+873	+13%
営業利益	686	548	+138	+25%
経常利益	749	588	+161	+27%
当期利益	450	361	+89	+25%

24年3月期第1四半期実績の全体総括です。

グローバル販売台数は、CV・LCV共に先期から減少となりました。

損益につきましては、記載の通りです。

売上高については、販売台数は減少しておりますが、仕向・車型構成の変動、円安影響、またアフターセールスの拡大もあり、増収となっております。

## 全体総括 '24年3月期 見通し

グローバル販売台数(千台)		'24/3期 今回見通し	'24/3期 期初見通し	増減	
CV計	国内	90	90	CVの販売台数見通しは 据え置き	
	海外	275	275		
		365	365		
LCV計	タイ	149	181	▲32	▲18%
	輸出	241	224	+17	+7%
		390	405	▲15	▲4%
合計		755	770	▲15	▲2%

## 決算見通し(億円)

売上高	33,000	33,000	売上高・利益・配当の 見通しは据え置き	
営業利益	2,600	2,600		
経常利益	2,750	2,750		
当期利益	1,550	1,550		
1株当たり配当	80円	80円		

続いて、24年3月期の販売台数と損益の見通しです。

CVは、5月の公表から変更ありません。一方、LCVは、初めに申しました通り、タイ国内向け及び輸出向けの台数を見直しております。

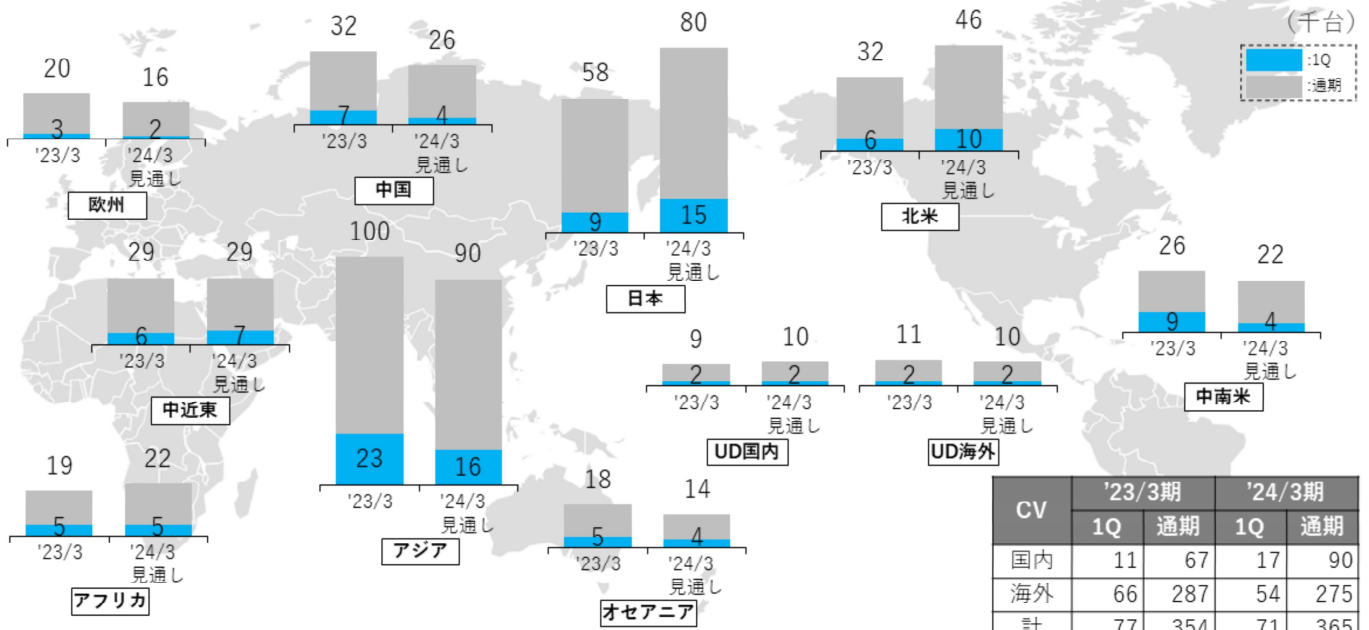
また、損益および配当の見通しについては、据え置いております。  
私からは以上です。

## 2. 2024年3月期 第1四半期 実績

続きまして、24年3月期 第1四半期実績につきまして、私、山北より  
ご説明いたします。

# CVグローバル販売台数実績

■ 1Q販売台数：国内及び北米向けは、部品不足の改善により増加する一方、アジア・中南米等の金利上昇・インフレ影響、及び一部地域における船舶不足の影響により減少



7 \*国内CV：卸売/直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

CVグローバル販売台数について説明いたします。

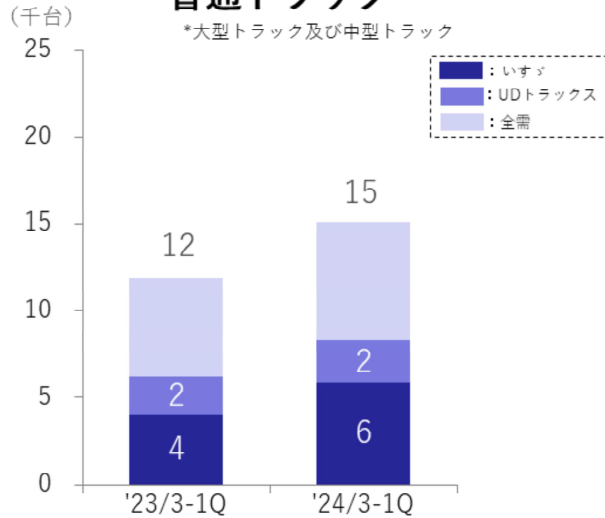
第1四半期は、先期に対して、国内及び北米向けが、部品不足の改善により増加する一方、アジア・中南米等の金利上昇・インフレ影響、及び一部地域における船舶不足により、全体では減少しました。

## 国内トラック 全需・シェア実績

- 全需：いすゞ・各社共に部品不足の改善により、普通トラック／小型トラック共に増加
- シェア：いすゞは、部品不足の改善が進み、普通トラック／小型トラック共に増加

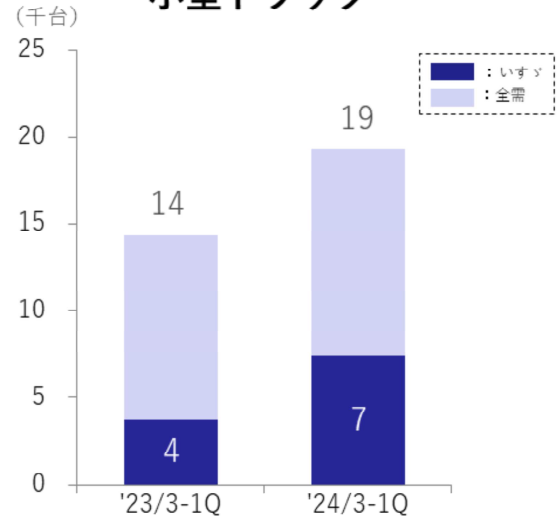
## 普通トラック

\*大型トラック及び中型トラック



シェア	'23/3-1Q	'24/3-1Q
いすゞ	33%	39%
UDトラックス	19%	16%

## 小型トラック



シェア	'23/3-1Q	'24/3-1Q
いすゞ	26%	38%

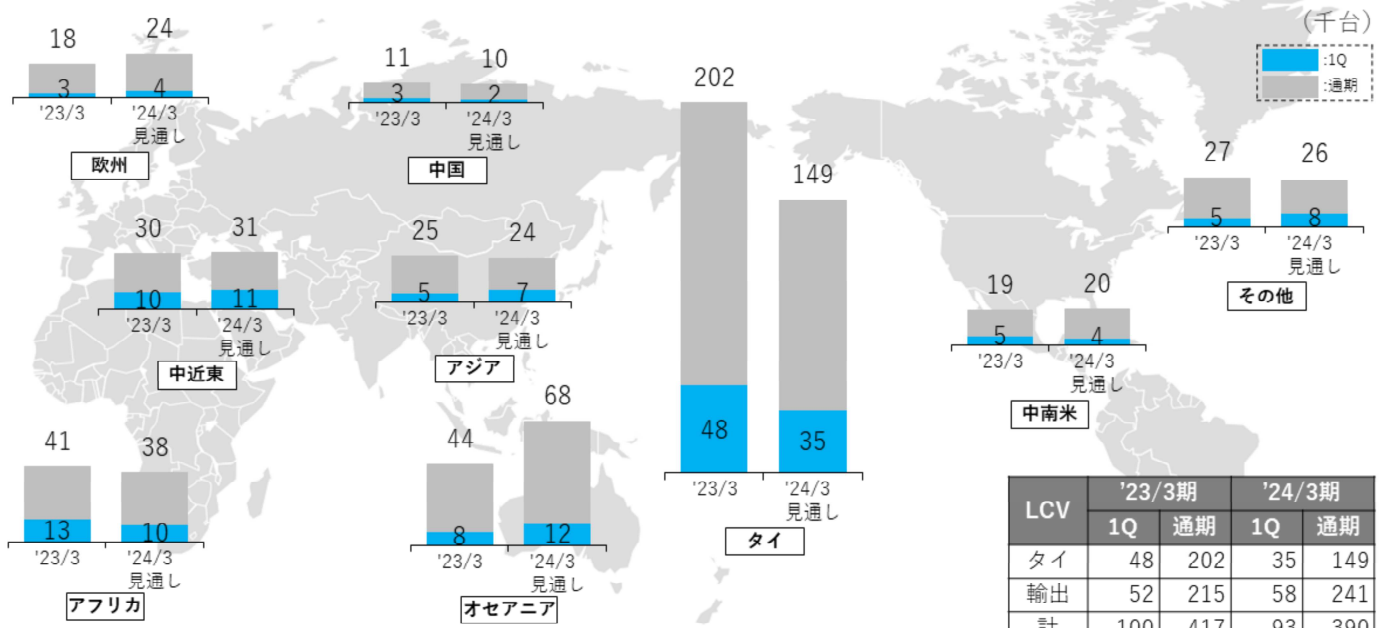
国内の全需とシェア実績です。

全需は、いすゞ・各社共に、部品不足が改善し、普通トラック・小型トラック共に増加しました。

シェアは、部品不足の改善が進んだこともあり、普通トラック・小型トラック共に増加しております。

# LCVグローバル販売台数実績

■ 1Q販売台数：タイ国内向けは市況厳しく減少も、輸出向けは、先期に部品不足のため満足に供給できなかった豪州中心に増加



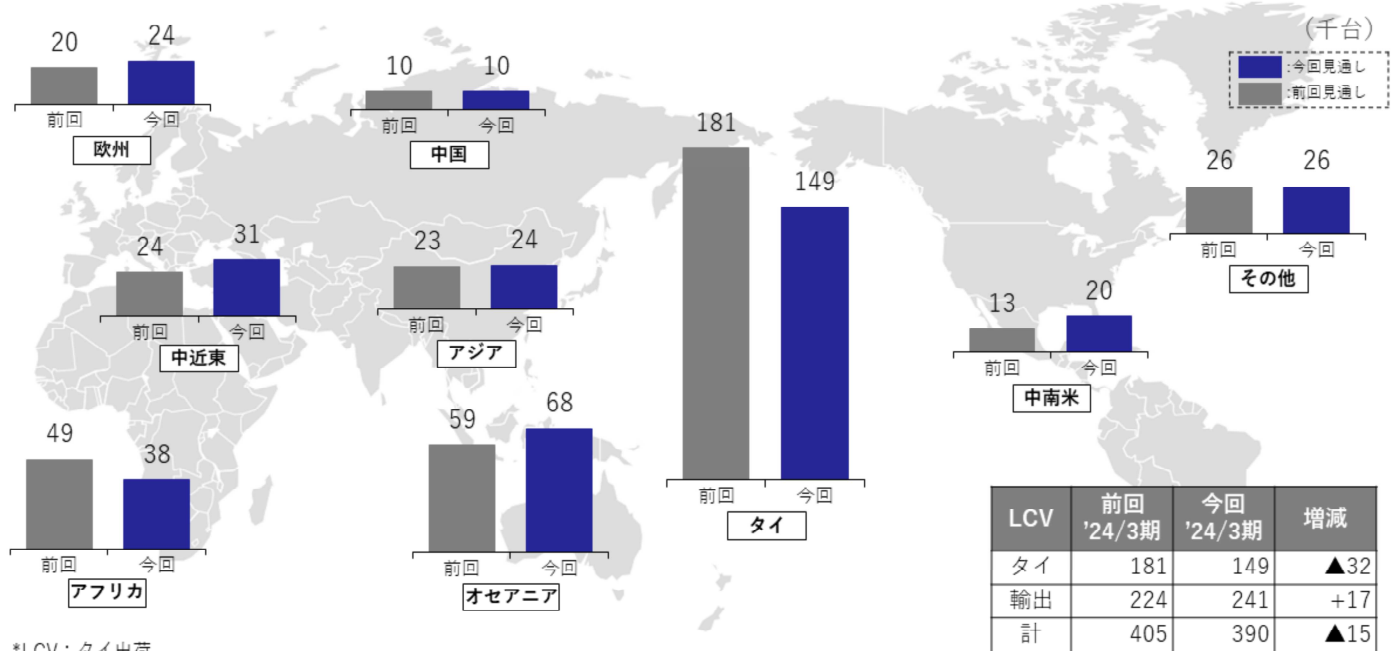
\*LCV：タイ出荷

LCVグローバル販売台数です。

タイ国内向けは、市況が厳しく減少となった一方、輸出向けは、先期に部品不足のため満足に供給できなかった豪州を中心に増加しました。

## LCVグローバル販売台数見通し（5月公表値との比較）

■ タイ国内向けの需要回復遅れによる台数減、輸出向けの部品不足改善による台数増を反映



10

Copyright(C) 2023 Isuzu Motors Limited All rights reserved

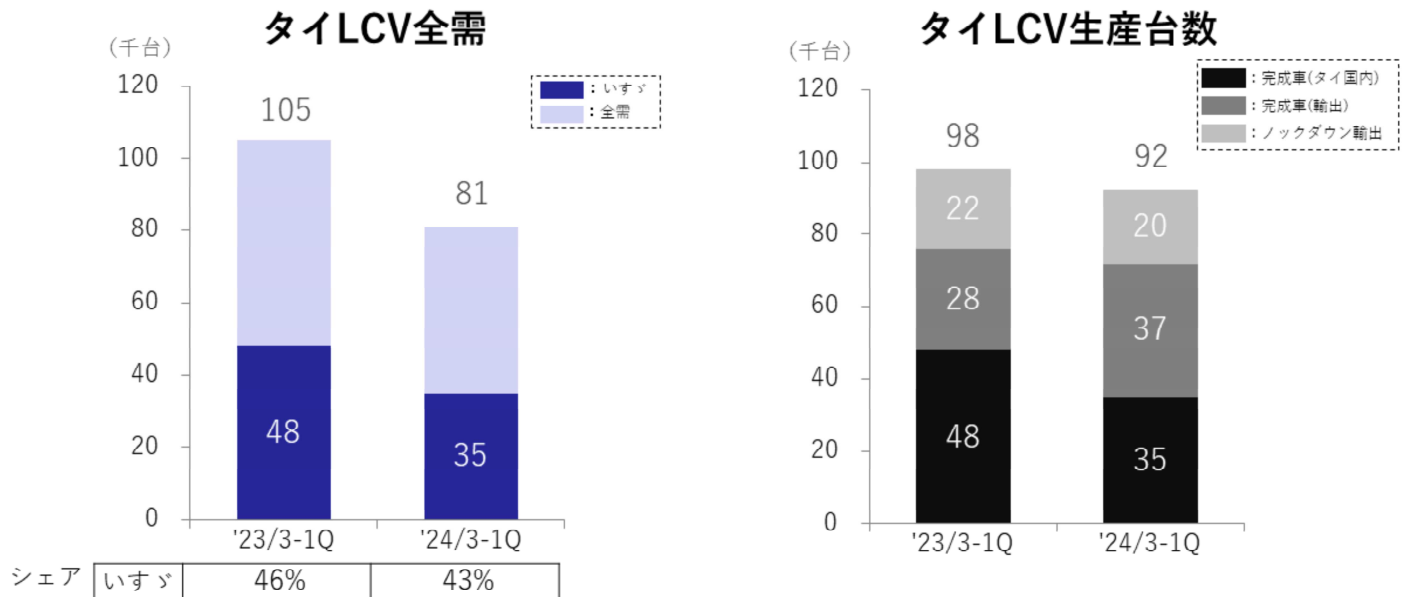
続きまして、LCVグローバル販売台数の通期見通しになります。

タイ国内向けは、当初想定していた後半期からの需要回復を見直し、台数減としています。

一方、輸出向けは、先期に部品不足により供給が滞った地域を中心に、台数増となります。

## タイLCV全需・シェア実績／LCV生産台数実績

- 全需は、ファイナンス環境の悪化により大幅減、シェアは、先期から高シェアを維持
- 生産台数は、タイ国内向けの減少により、先期を下回る



タイのLCV全需、シェア、及び生産台数実績です。

全需は、ファイナンス環境の悪化により、先期から大幅減となりました。

シェアは、先期から引き続き、高シェアを維持しています。

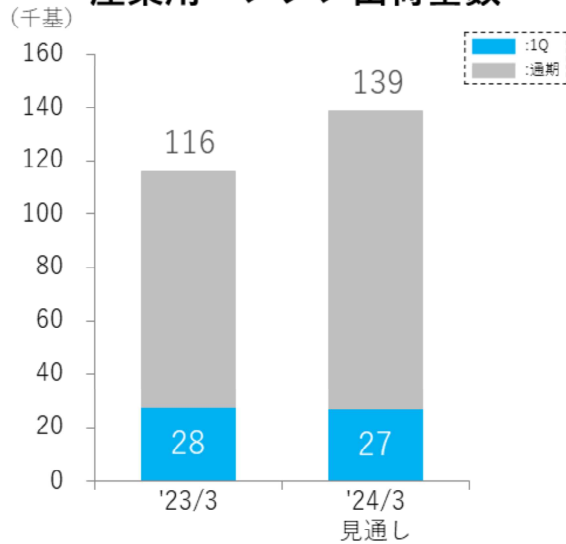
生産台数は、タイ国内向けの減少が大きく、先期を下回りました。



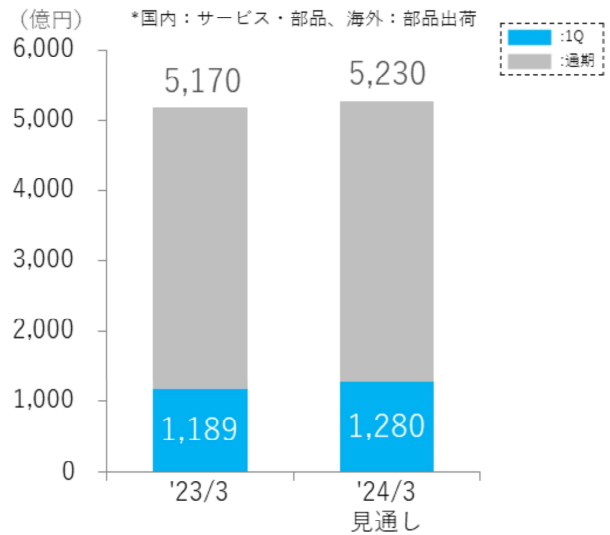
## 産業用エンジン出荷／アフターセールス売上実績

- 産業用エンジン：中国建機需要が想定ほど回復せず、出荷基数は先期並に留まる
- アフターセールス：国内を中心に、先期を上回るペースで拡大

産業用エンジン出荷基数



アフターセールス



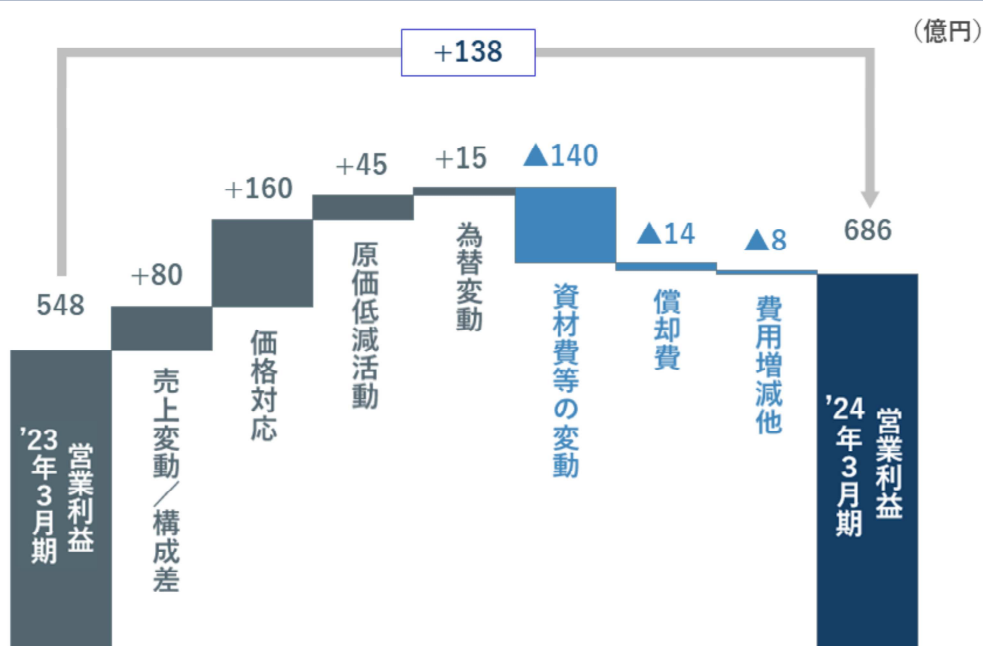
産業用エンジン、アフターセールスの第1四半期実績です。

産業用エンジンの出荷基数は、中国における建機需要が想定ほど回復せず、先期並に留まりました。

アフターセールスの売上は、国内中心に需要を取り込み、先期を上回るペースで拡大しています。

## '24年3月期 第1四半期営業利益実績 増減分析 -前年同期比-

■ 資材費等の高騰あるも、仕向・車型構成の改善、価格対応、原価低減活動、及び為替影響により増益



為替前提	'23/3期	'24/3期
USD/JPY	129.8円	137.5円
THB/JPY	3.77円	3.99円
AUD/JPY	92.7円	91.9円

内訳	'24/3期
売上変動／構成差	+80
国内CV	+90
海外CV	▲25
LCV	▲10
その他	+25
為替変動	+15
USD	+18
AUD	▲2
THB他	▲1
資材費等の変動	▲140
資材費	▲165
物流費	+35
電気・ガス他	▲10
費用増減他	▲8
開発費	+26
労務費	▲25
一般経費他	▲9

続きまして、営業利益の増減分析です。

資材費等は高騰したものの、仕向・車型構成の改善、価格対応、原価低減活動、及び為替影響により、138億円の増益となりました。

為替実績は表に記載した通りでございます。

## '24年3月期 第1四半期実績 -前年同期比-

(億円)	'24/3-1Q	'23/3-1Q	対前年比増減	
売上高	7,755	6,882	+873	+13%
営業利益	686	548	+138	+25%
経常利益	749	588	+161	+27%
当期利益*	450	361	+89	+25%

	'24/3 1Q	'23/3 1Q		'24/3 1Q	'23/3 1Q
営業利益	686	548	経常利益	749	588
持分法による投資損益	+10	+9	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	▲24	▲4
為替差損益	+34	+18	法人税等	▲163	▲119
その他	+19	+13	非支配株主に帰属する当期純利益	▲112	▲104
経常利益	749	588	当期利益*	450	361

\*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の説明です。

経常利益は、営業利益686億円から持分法による投資損益、為替差損益などを加減し、749億円となりました。

当期利益は、経常利益749億円から投資有価証券売却損益及び固定資産売却損益等、法人税等、及び非支配株主に帰属する当期純利益を加減し、450億円となりました。なお、ロシア事業譲渡に関連して、22億円の特別損失を計上しております。

以上をもちまして、  
いすゞ自動車2024年3月期 第1四半期 決算説明を終了いたします。  
ご清聴いただき、有難うございました。

地球の「運ぶ」を創造する

**ISUZU**

## (付表)本資料で使用している当社の製品カテゴリを示す用語について

### CV (Commercial Vehicle)

- トラック及びバスの総称
- トラックは、主に日本を拠点に生産・輸出（いすゞ拠点：神奈川県 藤沢工場、UDトラック拠点：埼玉県 上尾工場）
- バスは、日野自動車との合併企業であるジェイ・バスで生産され、いすゞ/日野の両ブランドで販売

<主なラインナップ>



大型トラック「ギガ/クオン」



中型トラック「フォワード」



小型トラック「エルフ」



路線バス「エルガ」



観光バス「ガーラ」

### LCV (Light Commercial Vehicle)

- 1トン積みピックアップトラック、及び同車をベースにしたPPV(Pick-up Passenger Vehicle)の総称
- 主にタイを拠点に生産・輸出

<主なラインナップ>



ピックアップトラック「D-MAX」



PPV「MU-X」

(付表) 販売台数の集計ポイントについて

連結販売台数：決算短信の「連結販売実績」に記載される台数

